

所管事務調査の報告

総務文教常任委員会

「七ヶ宿町高齢者生活福祉センターの利用状況等」

【七ヶ宿町高齢者生活福祉センターの利用状況等】

平成8年4月に開所し20年目に入った建物であるため様々な修繕・維持されておりましたが、設置されている手摺りの位置が高いため二段方式にすべきではないか、床がコンクリートにタイルカーペット張りのため木材にすべきではないか、屋内からボイラー室に入ることができず荒天時の点検が大変など不備が見受けられました。

介護事業実績では利用者数の減少と訪問介護事業の介護報酬引き下げが経営を圧迫しています。

居住事業では夫婦部屋3室、一人部屋4室で冬季間は満室ですが夏季間は利用者が皆無です。

スタッフの高齢化により人員の確保が難しくなっており、高齢者生活福祉センターへの町からの支援が切望されます。また、居住事業での入居者の基準では自立者が原則ですが、高齢者ですのでもし夜間に体調不良を訴えられても職員不在で適切な対応ができない可能性もあり、町と指定管理者で適切な対応を取っていただきたい。

高齢者生活福祉センターを利用される皆様方は、町発展に寄与された方々です。町としては十二分に楽しさと安全安心を確保していただくようお願いし報告といたします。

総務文教常任委員長 武藏 重幸



▲産業建設常任委員会



▲総務文教常任委員会

産業建設常任委員会

「水芭蕉群生地遊歩道改修工事」

「買い物弱者支援事業の運営成果と今後の課題」

【水芭蕉群生地遊歩道改修工事】

遊歩道改修工事は20年前に整備した木道による遊歩道の腐食が進んだために改修に至ったもので、平成25、26年の2回、事業総額2715万円をかけて進められました。財源内訳は県補助金が半分、残りは過疎債と一般財源から捻出されております。

総延長1116mの新しい遊歩道はプラ擬木を使用したことにより耐久性が半永久的となり、安心して水芭蕉の鑑賞を楽しむことが可能となっておりましたが、同時に今後の群生地周辺の利用と、毎年実施している葦刈の効果の検証も必要であると感じました。

【買い物弱者支援事業の運営成果と今後の課題】

震災後の緊急雇用創出事業である買い物弱者支援事業は、高齢者の安否確認も兼ねた買い物弱者支援として七ヶ宿観光開発株式会社がこの事業に取り組んでおりますが、移動販売は利用者の自然減もあり採算的に厳しく、人件費を賄うことも難しいとのことでした。

販売方法や順路については一部変更の要望はあるものの概ね問題はなく、現在ミニスーパーの構想もあり、可能であれば連携をして効率の良い経営を目指していただき、課題となっている仕入れの方法や工夫によって収益の確保に努め、多くの町民が期待を寄せている移動販売事業を長く継続することを願い報告といたします。

産業建設常任委員長 梅津 政志

意見書の採択

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

○主な内容

最低賃金額の改善と中小企業に対する支援策を拡充することで、労働者の生活と中小企業の経営を健全に展開させ、地域循環型の経済実現を求める。

全員賛成で採択

東日本大震災被災者医療費の一部負担金免除及び介護保険利用者負担金の減免を被災市町村の負担に要らず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書

○主な内容

東日本大震災被災者に対する医療費一部負担免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担に要らず平成28年度継続するための財政措置を求める。

全員賛成で採択